

受験番号	
氏名	



2026年度 東京未来大学入学者選抜試験
一般選抜[筆記試験型] C日程(2月25日実施)

国語



【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験時間は1科目60分です。
- 3 原則として、途中退出は認められません。試験中に気分が悪くなった人や、トイレに行きたくなった人は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、シャープペンシル又は鉛筆で記入してください。
- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 7 「やめ」の合図があったら速やかに筆記用具を机上に置いてください。
- 8 試験終了後、問題冊子、答案用紙はすべて回収します。
- 9 その他、必ず監督者の指示に従ってください。

I 現代文 一般選抜「筆記試験型」 C日程(2月25日実施)

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

1 昨今、「正しさは人それぞれ」とか「みんなちがってみんないい」といった言葉や、「現代社会では価値観が多様化している」「価値観が違ふ人とは結局のところわかりあえない」といった言葉が^①ル^②フしています。このような、「人や文化によって価値観が異なり、それぞれの価値観には優劣がつけられない」という考え方を a 主義といいます。「正しさは人それぞれ」ならまだしも、「絶対正しいことなんてない」とか、「何が正しいかなんて誰にも決められない」といったことさえ主張する人もけっこういます。

2 こうしたことを主張する人たちは、おそらく多様な他者や他文化を尊重しようと思っているのでしょうか。そういう善意はよいものではありますが、はたして「正しさは人それぞれ」や「みんなちがってみんないい」という主張は、本当に多様な他者を尊重することにつながるのでしょうか。そもそも、「正しさ」を各人が勝手に決めてよいものなのか。それに、人間は本当にそれほど違っていいのかも疑問です。

3 (①)、価値観の異なる人と接触することがなかったり、異なっても両立できるような価値観の場合には、「正しさは人それぞれ」と言っているても大きな問題は生じません。たとえば、訪ねることも難しい国の人たちがどのような価値観によって生活しているも、自分には関係がありません。またたとえば、野球が好きの人とサッカーが好きなのは、スポーツのネタでは話が合わないかもしれませんが、好きなスポーツの話さえしなければ仲良くできるでしょう。サッカーが好きなのは間違っていて、すべての人は野球が好きでなければならぬ、なんていうことはありません。

4 こうした場面では、「人それぞれ」「みんなちがってみんないい」でよいでしょう。しかし、世の中には、(Ⅰ)しない意見の中から、どうにかして一つに決めなければならぬ場合があります。たとえば、「日本の経済発展のためには原子力発電所が必要だ」という意見と、「事故が起こった場合の被害が大きすぎるので、原子力発電所は廃止すべきだ」という意見とは、両立しません。どちらの意見にももつともな点があるかもしれませんが、日本全体の方針を決めるときには、どちらか一つを選ばなければなりません。原子力発電所を^③イ^④ジするのであれば、廃止した場合のメリットは捨てなければなりません。逆もまたしかり。「みんなちがってみんないい」というわけにはいかないのです。そんなときには、どうすればよいのでしょうか。「価値観が違ふ人とはわかりあえない」のであれば、どうすればよいのでしょうか。

5 そうした場合、現実の世界では（Ⅱ）を持つ人の考えが通ってしまいます。本来、政治とは、意見や利害が対立したときに妥協点や合意点を見つけたためのはたらきなのですが、最近では、日本でもアメリカでもその他の国々でも、権力者が力任せに自分の考えを実行に移すことが増えています。批判に対してきちんと正面から答えず、単に自分の考えを何度も繰り返したり、論点をずらしてはぐらかしたり、権力を振りかざして^ウオドしたりします。

6 そうした態度を批判するつもりで「正しさは人それぞれだ」とか「みんなちがってみんないい」などと主張したら、権力者は大喜びでしょう。（②）、もしもさまざまな意見が「みんなちがってみんないい」のであれば、つまりさまざまな意見の正しさに差がないとするなら、選択は力任せに行うしかないからです。「絶対正しいことなんてない」とか「何が正しいかなんて誰にも決められない」というのであればなおさらです。決定は正しさにもとづいてではなく、人それぞれの主観的な信念にもとづいて行うしかない。それに納得できない人とは話し合っても無駄だから権力で強制するしかない。こういうことになってしまいます。

7 つまり、「正しさは人それぞれ」や「みんなちがってみんないい」といった主張は、多様性を尊重するどころか、異なる見解を、権力者の主観によって力任せに切り捨てることを正当化することにつながってしまっているのです。これでは結局、「力こそが正義」という、困った世の中になってしまいます。それは、権力など持たない大多数の人々の意見が無視される社会です。では、どうしたらよいのでしょうか。

8 よくある答えは、「科学的に判断するべきだ」ということです。科学は、「客観的に正しい答え」を教えてくれると多くの人は考えています。このように、さまざまな問題について「客観的で正しい答えがある」という考え方を、**b** 主義といいます。探偵マンガの主人公風に言えば、「真実は一つ」という考え方だとしてもよいかもしれません。先ほどの**c** 主義と反対の意味の言葉です。「価値観が多様化している」と主張する人たちでも、科学については**d** 主義的な考えを持っている人が多いでしょう。「科学は人それぞれ」などという言葉はほとんど聞くことがありません。

9 そして実際、日本を含めてほとんどの国の政府は、政策を決めるにあたって科学者の意見を聞くための機関や制度を持っています。日本であれば、各省庁の審議会（専門家の委員会）や日本学術会議などです。「日本の経済発展のために原子力発電所は必要なのか」「どれぐらいの確率で事故が起こるのか、事故が起こったらどれぐらいの被害が出るのか」といった問題について、科学者たちは「客観的で正しい答え」を教えてくれそうに思えます。

10 （③）、実は科学は一枚岩ではないのです。科学者の中にも、さまざまな立場や説を取っている人がいます。そうした多数の科学者が論争する中で、「より正しいような答え」を決めていくのが科学なのです。それゆえ、「科学者であればほぼ全員が賛成している答え」ができあがるには時間がかかります。みなさんが中学や高校で習うニュートン物理学は、いまから三〇〇年以上も昔の一七世紀末に提

唱されたものです。

[11] 最先端の研究をしている科学者は、それぞれ自分が正しいと考える仮説を正当化するために、実験をしたり計算をしたりしています。つまり、科学者に「客観的で正しい答え」を聞いても、何十年も前に合意が形成されて研究が終了したことは教えてくれますが、まさしく今現在問題になっていることについては、「自分が正しいと考える答え」しか教えてくれないのです。ある意味では、「(Ⅲ) は人それぞれ」なのです。

[12] そこで、たぐさんの科学者の中から、自分の意見と一致する立場をとっている科学者だけを集めることが可能になります。東日本大震災で福島第一原発が爆発事故を起こす前までは、日本政府は「原子力推進派」の学者の意見ばかりを聞いていました。アメリカでも、トランプ大統領(在任二〇一七～二〇二一)は地球温暖化に懐疑的な学者ばかりを集めて「地球温暖化はウソだ」と主張し、経済活動を優先するために二酸化炭素の排出の規制を緩和しました。

[13] 権力を持つ人たちは、もっと直接的に科学者をコントロールすることもできます。現代社会において科学研究の主要な財源は国家予算です。そこで、政府の立場と一致する主張をしている科学者には研究予算を支給し、そうでない科学者には支給しないようにすれば、政府の立場を補強するような研究ばかりが行われることになりかねません。

[14] このように考えてくると、科学者であっても、現時点で問題になっているような事柄について、「客観的で正しい答え」を教えてください。それはなさそうです。ではどうしたらよいのでしょうか。

[15] 「正しさ」とは何か、それはどのようにして作られていくものなのか。私は、「正しさは人それぞれ」でも「真実は一つ」でもなく、人間の生物学的特性を前提としながら、人間と世界の関係や人間同士の間の関係の中で、^A いわば共同作業によって「正しさ」というものが作られていくのだと考えています。それゆえ、多様な他者と理解し合うということは、かれらとともに「正しさ」を作っていくという事です。

[16] とともに「正しさ」を作っていくということは、そこで終了せずに踏みとどまり、とことん相手と付き合うという面倒な作業です。相手の言い分を受け入れて自分の考えを変えなければならぬこともあるでしょう。それでプライドが傷つくかもしれません。しかし、傷つくことを嫌がっているのは、新たな「正しさ」を知って成長していくことはできません。若いみなさんには、傷つくことを恐れずに成長の道を進んでほしいと思います(などと言うのは説教くさくて気が引けますが)。

(山口裕之『みんな違ってみんないい』のか? 相対主義と普遍主義の問題』筑摩書房より 一部改変)

一 文章中の(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナを漢字に直しなさい。なお、漢字は楷書で丁寧書きなさい。

アルフ イイジ ウオドしたり

二 文章中の①・②・③に入る最も適当な言葉を、それぞれについて次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア	したがって	イ	ところが	ウ	やがて	エ	もしくは
オ	なぜなら	カ	あえて	キ	たしかに	ク	まるで

三 文章中の(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)に入る最も適当な言葉を、文章中の他の部分から探して、それぞれ漢字二文字で答えなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

四 文章中のa・b・c・dには、次の二つのうちのいずれかの言葉が入る。それぞれにふさわしい言葉を選び、アまたはイの記号で答えなさい。

ア 普遍 イ 相対

五 筆者が、科学の力で客観的な正しさを決めることについての自説を述べているのは何段落から何段落までか。文章中に付けられた1～16の段落番号で答えなさい。

六

A「いわば共同作業によって『正しさ』というものが作られていく」とあるが、そのためにはどんな困難が生じ得ると述べているか。「共同作業によって『正しさ』を作っていくためには、」に続けて、六〇字以上七〇字以内で自分でまとめて答えなさい。（句読点や記号も一文字とする。）

Ⅱ

言語事項・文学史 一般選抜〔筆記試験型〕 C日程（2月25日実施）

一

次の①～⑤の傍線部分の漢字の読み方を、ひらがなで答えなさい。なお、ひらがなは丁寧に書きなさい。

- ① 懸念する要因。
- ② 約束を反故にする。
- ③ その場で言質を取る。
- ④ 恭しい態度。
- ⑤ 私の提案を嘲る。

二

次の①～⑤の各文の主語と述語を一文節で抜き出して答えなさい。

- ① 今日も 木の 上で セミが 元気に 鳴く。
- ② 今年は 新しく 入学する 一年生が 多い。
- ③ 僕の 母は いつも リビングに いる。
- ④ 春は みつばちが たくさん 飛ぶ。
- ⑤ テーブルの 上には 教科書が 三冊 ある。

三

次の①～③の問いに答えなさい。

①次のア～カから、正岡子規の作品を二つ選んで、記号で答えなさい。

ア 遠山に日の当たりたる枯野かな
イ 降る雪や明治は遠くなりけり
ウ 雪とけて村いっぱいの子どもかな
エ 柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺
オ いくたびも雪の深さを尋ねけり
カ 万緑の中や吾子の齒生え初むる

②次のア～カから、宮沢賢治の作品ではないものを二つ選んで、記号で答えなさい。

ア 春と修羅
イ 野菊の墓
ウ よだかの星
エ なめとこ山の熊
オ 河童
カ 永訣の朝

③次のア～カから、『遠野物語』の作者を一人選んで、記号で答えなさい。

ア 折口信夫
イ 南方熊楠
ウ 三木清
エ 小林秀雄
オ 丸山真男
カ 柳田国男

Ⅲ 現代文 一般選抜「筆記試験型」C日程(2月25日実施)

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

2025年は終戦から80年という節目の年にあたります。戦後の日本は、製造業の輸出によって経済を伸ばすことに成功し、私たちの生活は豊かになりました。バブル時代には、多くの人が、将来はさらに豊かになるという希望を持っていたといえるでしょう。(①)、バブル崩壊によって日本経済は長期のデフレに苦しみようになり、東日本大震災の影響も重なり、状況がさらに悪化しているように見えます。こうした中、激しいインフレが国民生活を直撃する事態となっており、多くの国民が「生活が苦しくなった」という実感を強く持っています。

よく歴史は繰り返すと言われます。

実は戦争前の日本においても、大正時代に大規模なバブルが発生し、その後、バブル崩壊とデフレ不況、関東大震災が重なり、国民生活は一気に苦しくなりました。当時の日本も、日銀が大量に国債を引き受ける金融緩和策で何とか事態を乗り切ろうとしましたが、財政赤字が拡大してインフレが進行。国際情勢の悪化も重なって、最終的には取り返しのつかない戦争に突き進む結果となってしまいました。

大規模なバブル経済とその崩壊、大震災の発生やデフレ不況、インフレと日銀による大量の(Ⅰ)購入という一連の流れは、戦前の日本とよく似ています。最終的には激しいインフレによって国民の預金をほとんど失うという形で戦前社会は終わりを告げましたから、私たちはこの轍を踏まないようにしなければなりません。

これは日本の歴史ですが、世界的に見ても歴史は繰り返しているように見えます。

米国ではアメリカ・ファースト(米国第一主義)を掲げるトランプ氏が大統領に返り咲き、移民をハイセキしたり、外国からの輸入品に関税を課すなど、グローバル経済を否定する政策を次々に打ち出しています。欧州も従来の体制がうまくいかず、政権運営が困難になっている国が増えており、対外的に閉じた環境を望む声が大きくなっています。

近代社会が成立して以降、国際社会はグローバル経済を進展させることで、豊かな国も貧しい国も共に成長する道筋を模索してきました。ところが、ここに来て、一連の仕組みについて疑問視する人が増え、世界経済はブロック化しつつあるように見えます。

帝政ローマ時代には、社会が豊かになり、経済のグローバル化や価値観の多様化が進んだことが知られています。ローマ帝国という

のは、もともとローマ人が作った国ですが、今で言うところの欧州各国を次々と支配下に置き、一時は欧州とアフリカの一部を支配する強大な国家となりました。

当初はローマ人が支配者層として君臨していましたが、経済のグローバル化や価値観の多様化が進むにつれて、属州出身の元老院議員や皇帝も誕生するなど、人材の多様化が極限まで進んだと言われています。欧州には、当時としては「カッキテキナ石畳の道路が造られ、ローマ市内には水道が完備され、公衆浴場もあったほどですから、②」豊かな国際社会が開いていたと見てよいでしょう。ところが、こうした制度は徐々に機能しなくなり、各地で国民の不満が高まっていきました。その後、東方からゲルマン人が侵入したことで、ローマ帝国は一気に崩壊に向かうのですが、その後やってきた中世社会というのは、これまでとは打って変わって暗い世の中でした。

欧州各地には、何十、何百という小さな国が乱立し、それぞれが高い「Ⅱ」をかけ、閉じた経済活動を行うようになりましたから、グローバル貿易は一気に停滞。地域で生産できるものを中心に生活するという、自給自足型に近い経済にシフトしてしまっていたわけです。これによって欧州人の生活水準は一気に落ちてしまったわけですが、豊かさの崩壊をもたらすきっかけとなったのが、グローバリゼーションや多様化など、豊かさを象徴する仕組みや価値観だったというのは皮肉というより他ありません。

今の時代に置き換えてみると、似たような現象を多数、観察することができます。

グローバル経済の進展で人の移動は簡単になり、安価に世界を旅することができるようになりました。結果として多くの人たちが自由交流するようになり、価値観も多様化する社会になっています。（③）高度にITが発達したことで、低コストで便利な世の中となりました。

ところが、便利だったはずのグローバル社会、あるいはIT社会に対して不安やイライラを感じるようになり、外国とのやり取りにも疑問を感じる人が増えてきたことから、（Ⅲ）をはじめとする世界各国は、閉じた経済への方向性を模索し始めています。時代こそ大きく違いますが、ローマ帝国の発展と崩壊、そして時計の針が逆戻りしたかのような中世への移行というのは、不気味に現代社会と符合しているのです。

歴史は繰り返すといっても、当時と今とは状況が違いますし、何より、将来どうなるかについて正確に予言することは不可能です。しかしながら日本という国においても、そして世界に視野を広げた場合においても、時代の大きな転換点に差し掛かっているのは間違いないのではないのでしょうか。そうした中で、私たちはどのような選択を行い、その結果としていかなる人生を送るのか、真剣に考えなければなりません。

どんな世の中であれ、最後に頼ることができるのは自分だけというのは、人間社会のひとつの真理といえます。加えて言うと、私た

ち人間は現実社会に生きており、問題を解決するには現実と向き合うしかないというのもマガレもない事実といえるでしょう。

現実を冷静に受け止めつつ、私たち自身で問題解決の努力を続けることこそが、安心して人生を生きる最良の方法です。そして多くの人が自分自身を信じられるようになれば、国の制度もまた信用できるものへと進化していくことでしょう。

（加谷珪一『本気で考えよう！自分、家族、そして日本の将来 物価高、低賃金に打ち勝つ秘策』幻冬舎より 一部改変）

□ 文章中の（ア）・（イ）・（ウ）のカタカナを漢字に直しなさい。なお、漢字は楷書で丁寧書きなさい。

ア ハイセキ

イ カツキテキ

ウ マギレ

□ 文章中の①・②・③に入る最も適当な言葉を、それぞれについて次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア まさに
オ しかし

イ さて
カ なぜなら

ウ もしくは
キ だから

エ すると
ク また

□ 文章中の（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）に入る最も適当な言葉を、文章中の他の部分から探して、それぞれ漢字二文字で答えなさい。なお、漢字は楷書で丁寧書きなさい。

四

次に示す一段落が、本文中から欠落している。正しく挿入した場合、後に続く段落の最初の五文字を答えなさい。(句読点がある場合は、句読点も一文字とする。)

実はこうした経済のグローバル化や、それに対する反発というのは、長い歴史の中ですでに経験済みです。それは、ローマ帝国の崩壊から中世へと至る時代の変化の中に見て取ることができます。

問題は以上です。

